

辰年：この一年を振り返る

おはようございます。

今日は、冬至といって昼が一年中で一番短く、夜が長くなります。この日を境に、一陽来復、日脚は徐々にのびていきます。この日はかぼちゃを食べて金運を祈り、冬至風呂(柚子湯)に入って無病息災を祈る行事を各家庭で行うといった日本古来の風習があります。

さて、いよいよ明日から17日間の冬休み。辰年の今年一年は皆さんにとってどんな年だったでしょうか？毎年この時期になるとテレビや新聞等のマスコミで、この一年を振り返った話題が発表されます。

12月1日には「今年の新語・流行語大賞」が発表されました。候補にあがった言葉は、ノーベル賞を受賞した京都大学の山中伸弥教授の「iPS細胞」をはじめとして、「維新」「終活」「第3極」「近いうちに」「東京ソラマチ」「爆弾低気圧」などがあがりました。年間大賞を受賞したのは、「ワイルドだろお」でした。ユニークな格好で、失敗談のようなネタを「ワイルドだろお?」と披露し、この言葉がお茶の間の人気を集めたからだというのがその受賞理由だそうです。

「今年の10大(重大)ニュース」については、校長室入口右側の掲示版に今年一年に日本国内や世界で起きたできごとの一覧を貼っておきました。各新聞や各テレビ局は独自のアンケートで、10大(重大)ニュースを決めているようです。年末の番組を見るときにちょっと意識してみてください。

そして、「今年の世相を表す漢字一字」。みなさんもテレビのニュースで見たことがあるかもしれませんが、京都清水寺の僧侶が大きな筆でその字を書くものです。毎年12月12日に発表されるかという12・12「いい字・いち字」という語呂合わせからきているのだそうです。昨年は、東日本大震災の復興などを目指した「絆」という字が選ばれました。玄関にも貼っておきましたが、今年の漢字一字は、「金」という字でした。金環日食のほか、ロンドン五輪での日本人選手の活躍や、東京スカイツリーの開業、山中伸弥教授のノーベル賞受賞などで、「多くの金字塔が打ち立てられた」ことが理由だそうです。

今年も残すところ、あと10日となりました。自分にとってどんな一年であったのか、自分の10大(重大)ニュースや漢字一字を考えたり、家の人や友だちと話してみるのもおもしろいかもしれません。このように、今年一年を振り返り、また新たな気持ちで新年を迎え、目標を立てて頑張ろうとすることはとても大切なことです。来年平成25年巳年(みどし)もいい年になるように、がんばりましょう。いよいよ三年生は、受験に向けて佳境に入ります。冬休み中に風邪など引かないように十分に気をつけ、受験教科の勉強や面接の練習など万全の状態でも臨めるようにしてください。

また、年が明けると向島中学校も残すところ残り3ヶ月となります。4月当初にお話したスローガン「向島中64年の歴史の集大成と新たな出発の年に向けて」を胸に、3月2日の閉校式に向けて、また、4月の桜堤中学校開校に向けて生徒と教職員の全員の力を結集してがんばっていきましょう。

それでは、よいお年を！